

なぎさ

京急のまちマガジン
August 2024 No.646

特集 品川・横浜・横須賀エリア
沿線であのしむ “読書の夏”



電車に乗ると

はじめてのアルバイトは

高1の夏休みの海の家

毎日京急の電車で通勤した

はじめての電車通勤わくわくした

そのバイト先で知り合った人と結婚した

子育ても終わり

今私はときどき夫と

横浜スタジアムに野球観戦に行く

毎回わくわくしながら

京急の電車に乗って

作／ペンネーム・NAO



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「学生時代に通った、恋人とデートしたあの駅・あのまち」京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

- 応募方法／はがきか封書、またはEメールに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。
①詩とタイトル(詩は300字程度) ②郵便番号、住所 ③氏名(匿名希望の場合はペンネームも) ④年齢 ⑤性別
⑥電話番号、(Eメール応募の場合)メールアドレス ⑦本誌のご感想
- 締め切り／8月19日(月)消印有効
- 応募先／〒220-0011 横浜市西区高島1丁目2番8号 ㈱京急アドエンタープライズ『なぎさ』646号 詩募集係
E-mail : nagisa.hiroba_e37@keikyu-group.jp

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード(1,000円分)を進呈します ※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります ※応募作品の使用権は京浜急行電鉄㈱に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます

読者プレゼントはWEB応募になりました！

右の二次元コードを読み込んでアンケートに回答してくださった方の中から、
抽選で京急オリジナルQUOカード 1,000円分(10名さま)をプレゼント！

〔締め切り〕8月25日(日) 23:59



※ご応募いただいた方の個人情報は、作品掲載および賞品の発送以外の目的で使用することはありません

特集 品川・横浜・横須賀エリア

沿線でたのしむ 「読書の夏」

ここ最近の猛暑では

涼しい場所で、

本を読む時間が心地よい。

ひとり読書はもちろん、

親子で読み聞かせに参加したり。

コミュニケーションの場としても開かれた

沿線エリアの図書館とブックカフェをご紹介します。

Summer of
Reading



今年2～3月に行われた企画展示「鉄道と横須賀」で展示された資料。湘南電気鉄道時代（現・京急電鉄）の沿線の店のマッチラベルや当時の電鉄職員が着用していたはんてん襟など。

横須賀は、ペリー来航やその後の近代史においても重要な場所。横須賀市立中央図書館には、海軍関係の資料をはじめ、『新横須賀市史』の編さんの際に収集した郷土資料が充実している。資料は年に数回の企画展示や図書館HPのデジタルアーカイブで公開されており、歴史を身近に感じることができる。

充実の郷土資料を 展示・デジタルで公開

01

横須賀市立中央図書館

☎046-822-2202 📍横須賀市上町1-61 🚶横須賀中央駅から徒歩約11分 🕒火・水・土・日曜日9:30～17:20 / 木・金曜日9:30～19:20 🌿月（祝日の場合は翌日）・第4木曜日（7・8・11・12月を除く）、年末年始、図書整理期間 📧@yokosukalib



絵本がずらりと並ぶ絵本コーナー。椅子や床に座って、絵本をたのしめる。

02

横須賀市立児童図書館

（横須賀市立中央図書館分室）

☎046-825-4417 📍横須賀市若松町3-20 🚶横須賀中央駅から徒歩約1分 🕒9:30～17:20 🌿月（祝日の場合は翌日）・第4木曜日（7・8・11・12月を除く）、年末年始、図書整理期間



年に2回、英語、フランス語など外国語での絵本の読み聞かせも行っている。



約5万6千冊の絵本や
児童書を所蔵

1974年に開館した横須賀市立児童図書館は、全国の児童図書館のはしりの存在。絵本や児童書など、乳幼児から中学生向けの本が充実しており、市内全域はもちろん、横浜市などからも親子連れが訪れる。

月に3回、絵本の読み聞かせを行うほか、昨年からは毎週木曜日の午前中に、ボランティアによる「いつでもおはなし会」も実施。来館者のリクエストに応じて絵本を読み聞かせしてくれるのも好評だ。さらには、外国語による読み聞かせも実施するなど、さまざまな親子が絵本のたのしさを体感する機会を提供している。

どんな本を選べばいいか迷ったときには、無料配布する年齢別ブックリストを手にとってみよう。子どもの本を熟知した司書が、乳幼児から中学生まで、それぞれおすすめの本を紹介している。ロングセラーから新しい本までおさえたセレクトは、子どもと本とのよい出会いのきっかけになるだろう。



03

神奈川県立図書館

☎045-263-5900 📍横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2
🕒日ノ出町駅から徒歩約13分 🕒火～金曜日9:00～19:00、土・日・祝日9:00～17:00 📅月(祝日の場合は開館)・第2木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、資料総点検期間 📧@kanagawa_lib



2階には旧本館(現・前川国男館)を設計した前川国男の関連本の常設コーナーがある。館内のところどころに設置された椅子の座り心地のよさにも、「読む」ことへのこだわりが感じられる。



企画展示「源氏物語を取り巻く女性たちと文化」は、図書館の所蔵資料から『源氏物語』を読み解いている。11月13日まで開催中。

前川国男建築の特長を受け継ぐ空間 神奈川県立図書館本館

1954年に開館した、神奈川県立図書館旧本館(現・前川国男館)。設計したのは、近代日本建築を代表する建築家・前川国男だ。旧本館は現在、再整備中のため休館しているが、そのエッセンスを受け継いだ新しい本館が2022年9月1日、隣接地に「価値を創造する図書館」としてオープンした。

前川は、旧本館に日差しを遮りながらも室内にやわらかな自然光を取り入れるホローブリック(有孔レンガブロック)を採用し、明るさと落ち着きある空間を実現した。一方の新本館は、旧本館の雰囲気を引き継ぎ、大きなガラスと有孔木パネルによって、光に包まれながら本と向き合える空間を生み出している。書架はもちろん、サインのデザインや、椅子やテーブルなどの家具デザイン、そして配置まで、その全てが心地よく、本を読むための環境づくりにつながっている。

新たな本との出会いと、「読む」ことの充実感やよろこびをここで味わおう。

04

KAIDO books & coffee

☎03-6433-0906 📍品川区北品川 2-3-7 丸屋ビル
103 🚶新馬場駅から徒歩約5分 🕒9:00 ~ 18:00
📅月・火曜日 📧@KaidoBooks_and



旅と街道をテーマに約5万冊所蔵、そのうち約1万冊を店に置いている。2階の本棚は北は北海道から南は沖縄まで、その土地にちなんだ本がエリアごとに並んでいる。



地元の人はもちろん、近くのゲストハウスに滞在中の外国人旅行者も訪れる。



左／生まれも育ちも品川という店主の佐藤さん。
上／カフェの人気メニューは、自家製のソーセージとパンズでつくった「KAIDO ドッグ」(800円)。

宿場町・品川発、
旅がテーマのブックカフェ

「目の前が東海道なので、店の名前を「KAIDOにしました」と話すのは、店主の佐藤亮太さん。古くから宿場町として人々が行き交ってきた地元、品川をもらいたいと、「旅」をテーマにブックカフェを開いた。

「旅といってもガイドブックやグルメ本ではなく、日本全国のマニアックな本をそろえています。販売しているものもありますが、お茶を飲みながらここで読んでほしい。立ち読みは無料です(笑)。専門書や地域資料など、普通の書店には置いていないものばかりなので、普段なら手に取らないような本に手が伸びるんです」

店を訪れるのは地元の常連客から、貴重な資料を求める研究者、近くのゲストハウスに泊まる海外からの旅行者、近所に引越してきたばかりの人など、さまざまだ。「もともと、品川は旅人が集まる街だったので、それを再認識してもらったり、ここが地元の人の居場所になったりしたらいいなと思っています」



窓から見える緑に心和む。庭は安木さんの母親が手入れしている。

05 本とお茶ときどき手紙 草徑庵 (そうけいあん)

☎045-349-9004 📍横浜市磯子区岡村 4-20-15 ハイム TZ 1F 🚶上大岡駅から市バス133「横浜岡村郵便局前」下車徒歩約6分 🕒金・土曜日 9:00~16:00 ※2・9月は休業 🌐<http://soukeian.blog.fc2.com> 📧@booksoukeian



平置きされた本のなかには、人から譲られたものも。

閑静な住宅街に佇む、週末だけの読書喫茶

草徑庵は、週末の金・土曜日だけオープンする読書喫茶。ライターの安木由美子さんが、静かな住宅街にある実家の敷地内のアパートを改装し、読書と憩いの場として2012年にはじめた。メニューはドリンクのみ提供している。

「普段はここでものを書く仕事をしていて、週末を店にしています。お客さんは20代から80代で一人でいらっしゃる人が多いですね。静かに本を読む人もいれば、毎週のように立ち寄っては、その1週間のできごとを話していく常連さんもある。顔見知りになったお客さん同士が友だちになることもありますよ」

特別の宣伝はせず、情報提供も控えめなのは、実際にこの場所に来て感じたことを大切にしてほしいから。決して交通の便がいいとは言えない店を訪れる人のなかには、半日をここで過ごす人も少なくない。「草徑庵は、来てくれる人たちがお互いにいい雰囲気をつくってくれているんです。やっぱり、人が大事ですね」

06 スカイガーデン「横浜・空の図書室」 (横浜ランドマークタワー展望フロア)

☎045-222-5030 (代表) 📍横浜市西区みなとみらい 2-2-1 🚶みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩約3分 🕒通常営業 10:00~21:00 (最終入場は20:30) 🌿無休 🎫大人(18~64歳)1,000円



横浜を一望、日本一高いブックコーナー

横浜ランドマークタワー69階、高さ27.3mに位置する展望フロア、スカイガーデン。横浜を一望できるこの場所に横浜・空の図書室はある。横浜と神奈川、そして空にまつわる約2千冊を集めたブックコーナーには、絵本や科学書、写真集から小説まで幅広いジャンルの本が並び、子どもから大人までのしめるラインナップとなっている。目の前に360度ぐるりと広がる景色を前に本の世界へ、ゆっくりとした時間を過ごしたい。

Recommended Books



横須賀市立児童図書館
中野恵子さん



『黒部の谷の小さな山小屋』
星野秀樹／写真・文
アリス館

「登山客が訪れる山小屋の写真絵本で、毎年、夏前に小屋を建て、冬前には解体するその過程を写真でたのしめます。自分で読むなら小学校中学年から、読み聞かせるなら低学年でも」



横須賀市立中央図書館
出雲晶子さん



『くらべる日本 東西南北』
おかべたかし／文
山出高士／写真
東京書籍

「同じ『塩辛』も、神奈川県は赤色、富山県はイカ墨を使った黒色など、日本各地の文化・風俗の違いを写真で紹介。地域の特徴が際立っておもしろい本です。ぜひ、夏の旅のおともに」



神奈川県立図書館
司書 吉村麻希さん



『源氏物語に仕掛けられた謎
「若紫」からのメッセージ』
原岡文子／著
角川学芸出版

「源氏物語の『若紫』の巻について詳しく書かれていて、物語の伏線なども読み解いています。読みやすくわかりやすいので、まだ『源氏物語』を読んだことがない人にもおすすめです」



『閑事 草徑庵の日々』
安木由美子／著
ユニコ舎

「草徑庵 10 周年を記念し、草徑庵通信 100 号分のエッセーをもとにまとめました。写真をお客さんが提供してくれたり、イラストを近所のペン画家さんが描いてくれたりと、みんなでつくった自慢の本です」



草徑庵
店主 安木由美子さん



KAIDO books & coffee
店主 佐藤亮太さん



『よくわかる
「日本の妖怪」100』

日本博識研究所／編
リイド社

※現在は電子書籍でのみ販売

「地方のいろいろな妖怪が載っていて、地域の色が見えておもしろい。妖怪も民話や伝承的なものであり、そうした物語を味わうのも旅のひとつだと思います。サラッと読めるのもいい」



横浜ランドマークタワー
「スカイガーデン」
スタッフ一同

『雲のカタログ
空がわかる全種類図鑑』
村井昭夫、鶴山義晃／文・写真
草思社

「展望フロアから実際に見られる雲と照らし合わせながら、いろいろな雲の種類を探すのも◎」



「北馬場」も「学校裏」も現在は存在しない駅名。レトロな雰囲気は、昭和時代をしのぼせる。

1987(昭和62)年「京浜」から「京急」へと冠称を変更。10駅の名前が変更される際には二つ折りで10枚セットの記念入場券がつけられた。

京急電鉄の謎 50 失われた駅名に 隠された 変遷の歴史

俳

人、中村草田男の俳句に「降る雪や明治は遠くなりなけり」という

一句がある。過去に思いをはせるきっかけは人それぞれだが鉄道の「駅名」もまた、昔を想起させてくれるものだ。ここでは、京急電鉄の駅名が変わっていった歴史やその背景を振り返ってみたい。

まずわかりやすい例として、創立90周年を迎える前年、1987年の10駅の駅名同時変更。それまで冠称であった「京浜」を「京急」に改称し、「京浜○○駅」と呼ばれていた駅が「京急○○駅」となった。これは駅名の冠称を「京急」に統一するための変更だった。

ほかには「統合」という形で駅名が変わったケースもある。「新馬場」ができる前は「北馬場」と「南馬場」が

その他の駅名変更例

1940(昭和15)年

軍需部前駅→安針塚駅

海軍軍需部があったため「軍需部前」に。施設の名称が駅名でわかりやすいのは軍事上好くないと、戦時中の1940年に改称

1982(昭和57)年

谷津坂駅→能見台駅

駅前の坂道にちなみ「谷津坂」としたが京成本線「谷津遊園」(現「谷津」)と似た駅名だったこともあり変更。景勝地、能見堂からその名をとった

2004(平成16)年

京急安浦駅→県立大学駅

「横須賀公郷」として開業後、「京浜安浦」「京急安浦」を経て現駅名に。神奈川県立保健福祉大学が徒歩圏に開設され名称が変更となった

あったが、1976年に統合され「新」が冠せられ今に至る。また現「平和島」はその名が2度も変わった駅だ。1901年「沢田」として開業後、現在の大田区立開桜小学校の裏にあったことから「学校裏」に。1961年には、当時、埋め立て地の「平和島」に競艇場を誘致しレジャーランドに開発する事業もあったため、その地名を押し出そうと現駅名にしたのだ。

駅名改称は昔の話だけではない。2020年には、「産業道路」↓「大師橋」、「花月園前」↓「花月総持寺」、「仲木戸」↓「京急東神奈川」、「新逗子」↓「逗子・葉山」に名前が変わっている。いずれも京急120周年記念事業の一環として公募し、新しい駅名を付けた。これからも駅名には歴史が刻まれていくことだろう。

“横須賀の小僧 目の当たり
Big tuneで Gyal dem bruk out
20年後も爆音が鳴ってるトコ 俺は此処”

by RUEED
from BRUK OUT(2023)



いま、見えてくる
京急沿線の未来

File. **50**

“夏はヨコスカ”を再び
レゲエフェスで
街を盛り上げる

ミュージシャン・俳優
窪塚亮介 (RUEED)



積み上げたスピーカーから重低音が
鳴り響き、スキヤंकというレゲエ
のギターの刻みに乗せて、ポールカがゆった
りと歌を歌い始める。一般的に、ジャマイカ
で発祥したレゲエは「ライヴ（平和で心地よい）
音楽」といわれ、メッセー_ジ性の強い歌詞は
ポジティブかつ情熱的だ。

今から約30年前、「レゲエ・ジャパン・ス
ブラッシュ」という、日本最大級の野外レゲ
エライブが横須賀で行われていた。当時は最
先端の音楽シーンで、約4万人の動員数の年
もあったほど。時を経てレゲエフェスが再び
横須賀の地で開催されたのは2023年のこ
と。名前は「ヨコスカ（レゲエ REGGAE BASH）
」。発起人は、地元出身で RUEED のアーティス



れ、ジャークチキンなどのジャマイカ料理や、横須賀にちなんだネイビーバーガーなどのキッチンカーも集う。海に向かって歌うオペラハウス状の野外ステージは、窪塚さ

ト名義で活動する、窪塚亮介さんだ。「三浦半島は横須賀・湘南・逗子・葉山と文化圏が違うエリアが混在しているけれど、それぞれが自分たちの街をプラウドしながら認め合っている。『OneLove (調和)』はレゲエの精神でもあります。また、世の中の良くないことに関して『それって間違えてるよね?』と突っ込めるところもレゲエにはあって、それが横須賀の街の雰囲気とシンクロするんです」

昨年行われた記念すべき第1回では、集客目標を大きく上回る2万人の観客が全国から押し寄せた。今年はエリアを拡大し、2日間にとわって開催される。

メインステージは、遺跡のような壁に囲まれた「音楽噴水跡地」。ゲートをくぐってすぐの中央広場にはDJブースが設置され、



倉庫をリノベーションした「いちごよこすかポートマーケット」は、三浦半島の有名店や食文化が集結した商業施設。フェスの際はコラボ商品やイベント、パブリックビューイングを実施する予定。

んが高校時代に舞台上に立つた縁の地。その目の前に広がる芝生広場では、アパレルブランドなどが出店予定だ。

後援は「日常に音楽のある街」をうたう横須賀市。スポンサーは、遠い昔にレゲエフェスに参加し、今では会社の経営者になった人たち。地元の人や全国のレゲエ仲間も自発的に協力してくれた。

「全てがゼロからのスタートでした。一人ひとりに足を運び、フェスの意義や目的を説明しました。本気な奴には本気で熱を注いでくれるのが横須賀のいいところ。みんなの期待を背負うプレッシャーもありますが、それ以上に、このフェスで横須賀の魅力を全国に伝え、未来への種まきをしたいという使命感の方が強い」



YOKOSUKA REGGAE BASH 2024

9月22日(日・祝)・23日(月・振休)
10:00~19:30 (雨天決行 / 荒天中止)
神奈川県横須賀市稲岡町 82
三笠公園特設ステージ
※入場無料



<Artists> RUEED / PUSHIM / DOZANI1 aka 三木道三 / CHOZEN LEE and THE BANG ATTACK / RUDEBWOY FACE / CHEHON / ASOUND / Youth of Roots / HOME GROWN etc.

昨年のフェスに訪れたスポンサーからは「しばらく見ていなかった横須賀の暑い夏の再燃だね」と喜ばれた。無料イベントということもあり、親子3代でふらりと遊びに来る人も多く見かけた。

「横須賀という街も、音楽も、食べ物も、人も、誰もが丸ごと楽しんでもらえるフェスを目指しています。多くの人々の協力もあり、今年も入場無料で開催することにしました。レゲエは、あきらめないことや力強く前に進むためのマインドセットが詰まった音楽。大人が本気でやっていたら、子どもたちにもかっこいい、自分もそうなりたいと響くはず。このフェスが、そういう未来の選択肢を増やすきっかけになればいいことかなって思います」

青レモン、チリソース、
ニンニク酢で
味変も♪



冷やしぜんまいのような
チエー。

ベトナム料理

B フォーミン生麦

看板メニューは、牛骨などを10時間以上煮込んでつくるフォー。スープのコクと喉ごしのいい生米麺が食欲をそそる。デザートはゼビドリアン入りにトライ! どれも本場の味わい。

☎090-1615-4392 ④横浜市鶴見区岸谷1-24-3
① 駅から徒歩約2分 ② 9:00~22:00 ③ 無休 ④ ベトナム風ビーフシチューのフォー 970円、ドリアンチエー 720円



ヘビのオナガジエは「蛇も蚊も祭り」にちなんで江戸時代に疫病が流行した際、カヤのヘビに悪霊を封じて海に流したことに始まる。

C ハッピーバーバーマツノ

家族3代で76年続く理容院。カット技術のみならず炭酸水による洗髪も好評で、「炭酸ヘッドスパ」や「炭酸ジェルシェービング」は女性にもおすすめ。女性客には個室対応もうれしい。

☎0120-01-0586 ④横浜市鶴見区生麦1-12-16 ① 駅から徒歩約3分 ② 9:00~19:00(最終受け付け17:30) ③ 休月・火曜日ほか ④ 炭酸シャンプーヘッドスパコース 4,950円~ほか



ひと駅ごとに行きたいまち

京急線 普通電車の旅

72.5尺をぐるりとまわって再出発!

2nd Season / vol.15

なまむぎ
生麦駅 編

有形無形の歴史あり

江戸城に魚介類を献上する御菜肴八ヶ浦のひとつとして栄え、大正時代には工業地帯や住宅地が登場。時代とともに発展しながら、その軌跡を地名や史跡、行事に残してきた生麦エリア。夏や涼を感じるスポットと一緒に歴史もめぐる。

このエリアのおもしろポイント 5

- 1 江戸時代まで辺り一帯が麦畑だった
- 2 「生麦」は徳川2代将軍・秀忠由来説も
- 3 疫病を退散させたヘビは街のシンボル
- 4 「キリンビール前駅」という隣駅があった
- 5 「生麦住宅地」は京浜電気鉄道(現・京急電鉄)による関東の私鉄初の住宅分譲地

炭酸水の洗浄力や
血行促進カ効果で
スッキリ!



「させ」「もめ」の掛け声で"神輿が躍動か！



A 杉山神社

約450年の歴史がある岸谷、生麦、大黒町の総鎮守。100段以上ある参道の石段は、村人らが海から引き上げた石でつくったと伝わる。例大祭の日に神輿がこの参道を通る様子は、地域の夏の風物詩。

- ☎045-581-2298 📍横浜市鶴見区岸谷1-20-61
- 🚶駅から徒歩約8分 ※例大祭は2024年8月3日(土)・4日(日)。神輿渡御(みこしとぎょ)は4日(日)

仕込釜では
プロジェクションマッピングの演出が。



E キリンビール横浜工場

ビール産業発祥の地で、ビールのおいしさを体感できる工場見学「工場だけの特別体験。キリン一番搾り おいしさ実感ツアー」へ。シアター形式での歴史紹介やホップの香り体験、麦汁のテイastingなど、趣向を凝らしたルートであつという間の90分。

- ☎045-503-8250(9:45~16:30) 📍横浜市鶴見区生麦1-17-1
- 🚶駅から徒歩約10分 📅月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、設備点検日ほか 🎫工場見学20歳以上1人/500円(20歳未満無料。20歳未満だけの見学は不可) ※工場見学は要予約・詳細はHP (<https://www.kirin.co.jp/experience/factory/yokohama>)へ



癒やしの海中ワールドへようこそ。



生麦駅
會田健一さん

高台の公園からも街の歩みが見えてきます

海側は工業地帯で、山側は閑静な住宅街。駅は終日さまざまなお客さまにご利用いただいています。高台にある子安台公園は、横浜ベイブリッジや首都高速など横浜の湾岸地帯も一望できる穴場夜景スポットとしても人気です。

D 生麦海水魚センター

カリブやフィジー、紅海など世界各国から取り寄せた海水魚などを販売。カラフルな魚やサンゴの涼しげで幻想的なアクアリウムは、眺めていたくなる。スタッフの丁寧なレクチャーで、初心者も安心して海水魚飼育を始められる。

- ☎045-501-5548 📍横浜市鶴見区生麦1-5-25 🚶駅から徒歩約4分 🕒11:00~20:00 📅月・火曜日(祝日の場合は営業)
- 🎫ペルクラクラウンフィッシュ7,980円ほか

イラスト/田中未樹

横浜ベイコォーター

チャリティ縁日 2024



4種のお祭り屋台が楽しめる「チャリティ縁日」を開催！ぜひご家族でお越しください。チケットの売上金は全て「日本赤十字社」に寄付します。

過去開催時の様子

■開催日時／8月24日(土) 16:00～20:00 ■会場／6F ベイガーデン※雨天時は3F ゲート広場にて開催 ■お問い合わせ／045-577-8123 (10:00～20:00)



詳細はこちら

京急ストア

「京急ストア杉田店」オープン！



けいきゅん

7月30日(火)に京急線杉田駅直結の商業施設プララ杉田1階に「京急ストア杉田店」がオープンしました。磯子の逸品である完熟した杉田梅を使用した『杉田梅干し』や『かながわ夢パーク』など「じもとかながわ」の商品を取りそろえています。ご来店お待ちしております！

■住所／横浜市磯子区杉田1-17-1 ■営業時間／平日9:00～22:00、土・日・祝9:00～21:00 ■詳細／<https://www.keikyu-store.co.jp> ■お問い合わせ／0120-34-0453 (京急ストアお客様ダイヤル／10:00～18:00 ※土・日・祝日を除く)

台湾観光庁・京急電鉄

ビビビビ!台湾号 運行開始



「美景」「美人」「美食」「美質」という4つの「ビ(美)」を紹介している特別ラッピング電車「ビビビビ!台湾号」。京急電鉄では

2015年に台湾鉄路管理局と友好鉄道協定が締結されて以来、さまざまな形で台湾の魅力を発信しています。今年も羽田から台湾へ!!

■運行期間／運行中～9月28日(土) ■お問い合わせ／03-5789-8686または045-225-9696 (京急ご案内センター)



詳細はこちら

京急開発

サマーフェスタ in Heiwajima



ウォーターエリアやふわふわ遊具、ワークショップや縁日など楽しいコンテンツが盛りだくさん! 三浦・三崎野菜などを販売する「京急沿線マルシェ」やスケート場の氷で遊ぶ広場も開催します。

■開催日時／8月3日(土)・4日(日) 各日11:00～17:00 ■会場／ポートレース平和島、BIGFUN 平和島 ■入場料／無料 ※一部コンテンツ有料 ■お問い合わせ／03-3768-9090

路線図

特集紹介エリア ▶ P3-8
京急沿線の未来紹介エリア ▶ P10-11
普通電車の旅紹介 ▶ P12-13
この店、あの一ひと紹介 ▶ P16



京急沿線マガジン「なぎざ」「MIULIKE」バックナンバーは、京急電鉄オフィシャルサイト「[KEIKYU WEB](https://www.keikyu-web.com)」でお楽しみください。





一般社団法人三浦市観光協会ほか

京急沿線夏の花火大会情報

夏の風物詩・花火大会が京急沿線でも開催されます。夏の夜空を彩る大輪の花火をお楽しみください。

※詳細・お問い合わせは各HPをご確認ください

横浜スパークリングトワイライト

■開催日時/8月10日(土)、31日(土)、9月14日(土)、21日(土) 各日 20:00~20:05

■会場/新港ふ頭(8月10日、31日、9月21日)、大さん橋(9月14日)

※10月以降の花火大会の日程はHPをご覧ください



▲HP

三浦海岸納涼まつり花火大会

■開催日時/8月7日(水) 19:30~20:00
■会場/三浦海岸



▲HP

金沢まつり花火大会

■開催日時/8月24日(土) 19:00~20:00
■会場/海の公園



▲HP



京急電鉄

京急夏詣キャンペーン 2024

参加社社で御朱印を受けると、リーフレットにスタンプを押します。北エリア 12 社社、南エリア 8 社社どちらかのスタンプを全て集めた方にオリジナルグッズ(先着 1,750 名さま)を、20 社社全てのスタンプを集めた方には「京急夏詣 参拝の証手ぬぐい」(先着 1,000 名さま)をプレゼントします。さらにリーフレットを提示して御朱印を受けると、オリジナルはさみ紙のプレゼントも。そのほかヘッドマークと車内を「7 種類の手ぬぐい風特殊中吊りポスター」などで装飾した「京急夏詣号」を運行します。詳細はHPへ。

■開催期間/開催中~8月31日(土) ■お問い合わせ/03-5789-8686 または 045-225-9696 (京急ご案内センター)



詳細はこちら

MIULIKE ▶ P02-08



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは
京急ご案内センター (受付時間)9:00~17:00 年末年始は休業
※営業時間に変更となる場合がございます。

03-5789-8686 / 045-225-9696

京急ホームページ www.keikyu.co.jp

なぎさ 646 号 MIULIKE Vol.25 2024 年 8 月 1 日発行

発行/京浜急行電鉄株式会社

〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号

☎ 03-5789-8686 / 045-225-9696

編集/株式会社京急アドエンタープライズ 印刷/山陽印刷株式会社

6月、三戸浜海岸で原さんが捕ってきたウニ。ふわふわの身はなにもつけなくてもおいしい。



民宿のモットーは、食をはじめとする三浦の自然を味わってもらうこと。宿泊客には、なるべく地元の家や自分の畑でとれた旬の食材をふるまう。また、日帰りのできる釣りのほ



年になる。民宿を始め、今年で45年になる。民宿のモットーは、食をはじめとする三浦の自然を味わってもらうこと。宿泊客には、なるべく地元の家や自分の畑でとれた旬の食材をふるまう。また、日帰りのできる釣りのほ



三崎口駅 三浦の自然を味わえる宿 民宿はら

三崎口駅から西に向かい、畑を抜けて三戸浜海岸へ。半農半漁の暮らしが息づく初声町に、原美佐子さんが切り盛りする「民宿はら」がある。もとは家族で釣り船をやっていたが、客からの「これ

か、団体客向けに漁師鍋づくり体験や、三戸浜海岸でとれた天草でところてんづくりの体験なども実施している。

た魚をさばいてほしい」

「修学旅行などで来た子どもたちは、ところてんが天草でつくられることにびっくり。畑になっているキャベツを初めて見る子ども多い。みんな歓声をあげてたのしみ、たくさん食べてくれますよ。三浦の味を求めてまた来てくれるのが何よりうれしいですね」

「船で食べるおむすびをつくってほしい」という声にこたえる形で

原さんがここに嫁いで60年。以来、享受してきた地元の家や自分の畑でとれた旬の味を、民宿はらを訪れる人たちが未来につな

げてくれる。彼らの「おいしかった!」の言葉をエネルギーに、原さんは今日も海へ、畑へ。

民宿はら

- ☎ 046-888-3535
- 📍 三浦市初声町三戸 2449
- 🚗 三崎口駅から車で約5分 (事前予約制の送迎あり)
- 🍽️ 1泊2食付き 2名1室 大人1名1万450円～
- 🌐 <https://minsyuku-hara.jp>